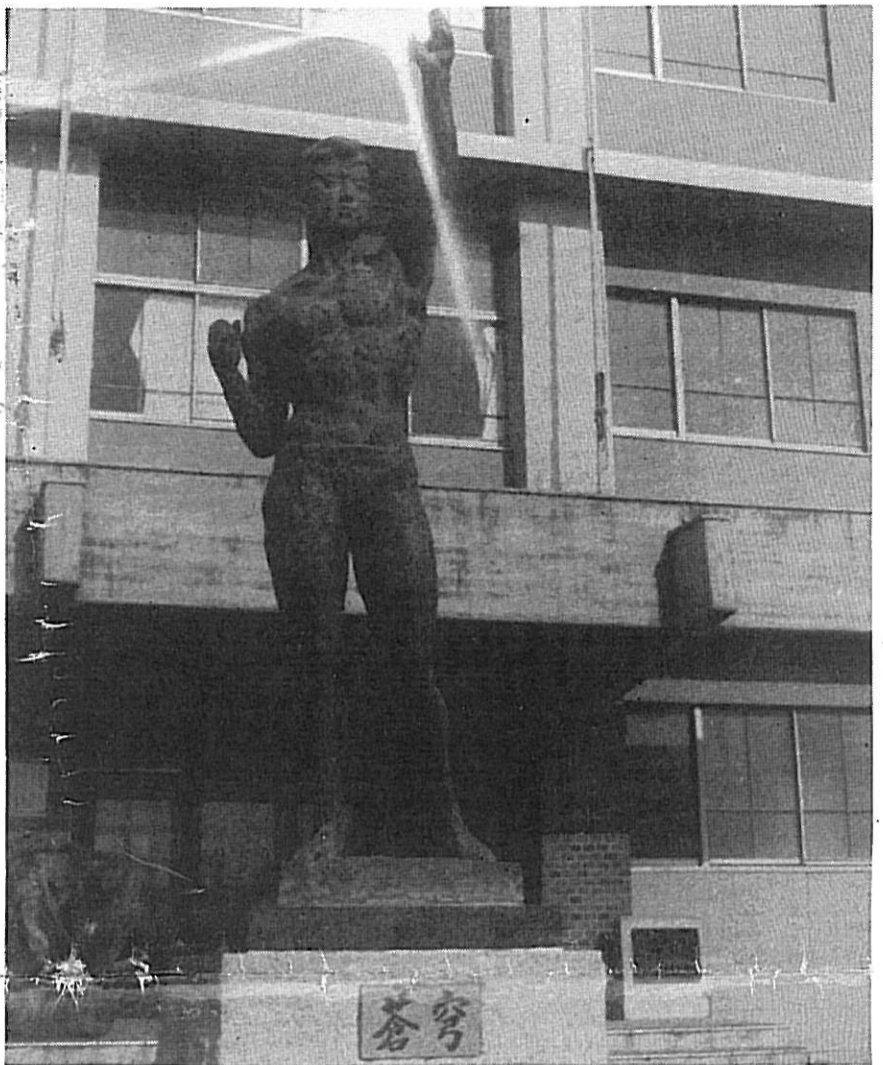


発行 県立富士宮北高等学校同窓会  
 北嶺会  
 静岡県富士宮市大宮2300 (北高内)  
 電話 (0544) 27-2533代  
 編集 北嶺会 広報部  
 部長 井出元一



気念朗  
 霸信明  
 校訓



「蒼穹の像」(本校玄関前)

澄み切った青空に向かって清く、たくましく生きる若者の姿を象徴したもの

### 北高の大計

校長 新井 義信



同窓会員の皆様には、ご健勝にてそれぞれご活躍のことと存じます。母校北高も創設以来四十四年、卒業生は一万七千二百名で、人の大台を突破しました。在校生は千二百五十五名で、うち女子が三三五名です。言うまでもなく本校は、創

立以来男子校としてその伝統を生かして、校訓「霸気信念」の下、昔風にいえば文武両道一勉学と運動部を中心とした部活動との両立を目指してきました。近年とかく画一化し勝ちな高校の中にあって、伝統を現在に生かし、特色ある学校造りを進め、北高の大計を樹てたいと念願しています。

この観点に立つとき、北高生の現状はどうでしょう。高校進学率九五%といわれる現在、小学校から中学に進むのと同じように気楽に進学してくる者が多

い。志を立て、明確な志望動機や意志を持つ者が少ない。(他県での学校群制度や、総合選抜制はこの風潮を是認した上のものともいえる)入学した生徒には、北高三年の間に、自分はこのういう事をやった、これに全力を集中したといえるものを持って、と話し、すべてに計画・実行・反省、Plan Do Seeでいこうと言って

いるのも、一人一人が個性のある高校生活を自分の手で築いていってほしいと思

うからなのだが。各自が本校に学ぶ目的を自覚し、将来何を目標として進もうとしているのか、そのために今、何をやらねばならないのかを常に意識し、確認させるように仕向けることが大切ではないかと思

っています。今春には、本校から至近距離に富士宮西高が誕生し

ました。創設の意気に燃えるよい意味でのライバルに

### 同窓会費 納入について

北嶺会  
 会長 今村 堯



北高同窓会が北嶺会の名称を持ち執行部を構成し爾來八年の月日が経ちます。この間未だ未組織の地区は

残って居りますが事業所単位の支部組織は凡ね完了し又地区に於いても東京や静岡には夫々立派な地域支

部が設立され活発な独自の活動を

行っている事に心からの敬意を表します。そこで古く

から改めて話し、議論に同窓会費の問題があります。既に北嶺会運営状況については既報の北嶺会だより

に記載の通りであります。その財源が自前無言と言

う所に問題があります。実は後輩が在学中に支払

う会費が唯一無二の財源であり、ひらたく言うならば「他人の御座り」であります。曾つて関東支部の総

会の折にもこの問題で徴集

して、各方面で存分の活躍をされておられることは慶

### 着任にあたって

教頭 柏酒 保夫



富士宮市の生んだ先覚者望月軍四郎氏の先見によつて設立された大宮商工学校

は、今日県立富士宮北高等学校として、着実に発展の

途を歩んでいます。このことは皆様御承知の通りであ

ります。全国的にも一、二を争う広大な敷地、うっそうとした大樹に囲まれた重

厚味のあるキャンパス、この中で、生徒教職員は共々に、日々生気に溢れて勉学

に励んでおります。この富士宮北高校に赴任できまし

たことは、同じ郷土の市民として望外な喜びでありま

す。ここで、先輩諸兄の培われた伝統、覇気、信念、

明朗という校訓に示された建学の精神を充分に踏まえ

て、誠心、本校の教育に専念する所存です。皆様

の御指導御鞭撻を心からお願い申し上げます。

さて、本校の卒業生は一万名を越えその一人一人が

人が文字通り地域の支柱として、各方面で存分の活躍

をされておられることは慶賀にたえません。この諸先輩

の活躍は、そのまま母校生徒への激励となり活力と

なつて返つてきております。こうした意味でも、母

校と卒業生は、永遠に太いきづなで結ばれていると言

えましよう。そしてこの卒業生の集団、北嶺会の活力

はすばらしい。それは昨春母校野球部が甲子園に出場

した際見事に実証されたと思

います。更に近時、北嶺会

は会の一層の発展を期して、今村会長さんを中心とし

て、種々施策されておられることをおききし、ま

ごころで同窓会というものは、営利団体でもない

慈善団体でもない、ざりと単なる親睦団体でもない

という側面をもっている

# 五十五年度 総会の経過報告

北嶺会定期総会が今年七月五日(午後一時から、富士宮の「サンパレス」本)で開かれました。総出席者は三十二名と予想外に少なく淋しい総会となりましたが、内容的にはそれを吹き飛ばすほどの活発な意見が多数あり、熱気こもる総会で終りました。

先ず、今村会長から事業報告、続いて中野監事から決算報告、予算審議と進み事業計画では、森本副会長

から、富士宮支部結成計画井出副会長からは、北嶺会だよりの年二回発行の提案があり、それぞれ承認されました。又同窓会費徴収についての提案がなされ、会員一人年間千円を徴収することに決定されました。この徴収方法については、役員会に一任という事で了承されました。

ついで幹事長田中清氏が北高を退職のため後任として稲葉房穂氏を、会計監事高山昭三氏が東京転出のため渡辺英賢氏を選出致しました。

また、北嶺会だより年二回発行にともない、岩間茂芳、大石清一、内藤修次、平森賢雄、長嶋和男の五氏を新たに編集委員として就任方を承りました。

さらに現在、母校では合宿及び研修に使用している施設「北嶺荘」がだいぶ古くなり使用することに限界をきたしており、同窓会及び生徒が利用出来るような仮称「同窓会館」を早期建設に向けて同窓会に対する援助の要請がありました。これを受けて会長より他校視察の報告を行い、具体的な計画については、役員会に委ねることで了承されました。

尚、来賓の新井校長挨拶の中で「最近の北高は昔からの伝統を生かし、勉強にスポーツにその特色を生かしている。特にスポーツの公式出場記録は全県一三四校中、東海大付属高に次いで第二位、県立では第一位である」という言葉が印象に残りました。

以上簡単に総会の要点を報告致しましたが、総会終了後、吉田氏の特別講演が約十分に行われ、要旨を次に掲げさせていただきます。

講演会後、懇親会に移りなごやかな内に五十五年度の総会を終了致しました。

## アメリカの 市民生活について

東京電機化学工業(株) 開発部長 吉田一章 (県立第一回卒)

北嶺会々費  
納入依頼について

前記総会報告で述べましたように、年会費千円を左記の方法によって払い込んで下さい。

- 一、同封振替用紙に住所、氏名、卒業年次を記入の上、近くの郵便局へ払込んで下さい。
- 二、納入は三月末日までにお願いたします。
- 三、職場・地域・支部などまとまった所は、名簿(卒業年次・住所・氏名)に会費をそえて直接事務局(北高校)に納入して下さい。
- 四、尚、事情周知不徹底も考えられますので、折にふれ皆さんから同窓生に呼びかけて下さい。

同窓会発展のため何分宜敷く御協力下さい。

## 人物往来

### わが国家庭紙 トップメーカー

丸富製紙(株) 代表取締役 佐野 広彦 (第八回卒)



昭和30年富士市今京に円網ヤンキー式抄紙機一台で白ちり紙を抄く、月産三五〇万円、社長以下35名の工場が稼働を始めた。

これが広彦氏の実父富男氏(現会長)の始められた丸富製紙の第一歩である。

その後33年の激しい販売競争の試練を越えて、38年には二号機、続いて41年には、ちり紙1枚取りの大型抄紙機を増設、更に46年には日本で最初のオール古紙

による二枚重ねのミシン目入りトイレットペーパーを作ろうという事で、富士根工場(現在の本社工場)に大型の長網ヤンキー抄紙機を設置、50年には丸富のトイレットペーパーの生産高は大手企業を抜き業界第一位となった。現在紙タオル及びティッシュペーパーを含めて月産能力二千トン従業員二〇〇名、年商45億、前期の税引前利益金一億数千円という優良会社にまで発展した。

広彦氏は26年北高を経て30年早大第一理工学部を卒業、不二サッシ等を経て、同年丸富製紙設立と同時に常務として入社、51年専務54年社長に就任した。53年

静岡県合理化モデル工場研究会々長、55年静岡県家庭紙工業組合副理事長並びに衛生薄葉紙会副会長、54年丸富流通倉庫(株)社長となられている。

こうした経歴をみると、何と幸運なレールに乗った人だろうか、誰しもが先ず思うだろう。然し花を咲かせる前の苦しみと耐え抜いて来た道のりを見落してはならない。

筆者如き浅才な者があげつらうのは汗顔の至りであるが、海千山千の紙業界、特に家庭紙業界の中で、群を抜く丸富製紙の統帥の座を占めるに至るのは、そんな生易しいものではないと思う。

先ず30年早稲田を卒業後自ら進んで三光製紙の三直に組入れてもらい、現場の苦勞と技術を修得した。今の大学の学費を稼働につく様なら会社を辞める等と言うのは根本的に性根が違う。その後、父親の会社に戻り同年12月広彦氏は結婚したのだが、その新居が会社の

事務所の宿直室だったといふ。操業当初少しも良い製品を作ろうとして一日でも早く問屋さんに喜んで買って戴き度いという一念から生活の場より工場を優先して考えたという。ただの御曹司ではなかったのだ。

彼がこうした下積みと努力をかきこる一方、40年にはJIS表示許可を取り、近代的生産管理方式を逸早く取り入れ中小企業より合理化モデル工場の指定をとった。

家庭紙業界は製紙業界の内でも協調のよくとれた業界として知られているが、丸富歴代社長はいつもその運営にリーダーとなつて、とり仕切っている。佐野社長の内からの期待は非常に大きい。

なお同社には佐野力常務(第三回卒)大石一郎取締役(第八回卒)等が社長の右腕として頑張っている。帰りがけにふと見かけた社訓、和衷協力・進歩向上・共存共栄が印象的だった。

健康な生活態度

先ず私達がアメリカのイメージについて思うのは、持っている国の豊かな市民生活を誰しも想像する事でしょう。

然し大多数の市民はそうではない、例えば買物をするにしても決して衝動買いはしない、詳細に比較する安い商品がある店に売出し復のガソリン代を計算して買うかどうか決める。ましてや高価な買物は数年、案をねるといふ生活態度である。従って普段の食事等も

米国のサラリーマン

あちらのサラリーマンは自分の能力を適正に買ってくれない会社にはドンドン見切りをつけて他社に移るのが平気で行われている。終身雇用制度の日本と違うところである。万一失業しても自分を決して安売りしない。よ就職先が見付かる迄インデペンデント・コサルタント、私の専門は何々という事で、前の職場より高給の職場をねばり強く待つ。そして新しい職場に前よりも高給で迎えられれば、彼奴は能力があると

教育

米国の義務教育意識は、はつきりしている。子供達には教えられる権利があり、先生は教える義務があると割り切っている。

彼等は子供を非常に大切に育てる。育英制度もよくゆきわたっている。

スポーツ、勉強共に揃っている学校は私立に多い。彼等は人生を築きむる為に働くとは言い乍ら、地域活動もよくやる、特にボイスカウト活動は盛んである。公德力が日本と較べ、きわだって高い。

以上はアメリカ社会の、僅かな一面をかいま見ただけに過ぎないかも知れないが、彼等の健康な市民層に触れ、アメリカ未だ老いずの感があった。

日用品・雑貨卸売販売

(株) 竹内商店  
富士宮市阿寺地三八六 二四一〇一三三  
竹内昭八(商九期卒)

自動車整備・販売(民間車検)

峰自動車工業株式会社  
木ノ内正則(工六期卒)  
富士宮市源道寺町二六六 二六一八一八

レディースファッション (株) 小川洋品店 小川 実(商三期卒) 富士宮市大宮町九一六 二六一三九八八	池野電器店 池野保策(工三期卒) 富士宮市西町二〇一六 二六一二九八三	公衆浴場 小泉新三(工一期卒) 富士宮市西町二〇一〇 二六一五九五六	いきいきした健康づくり マルキチ薬局 内藤弘市(商二期卒) 富士宮市西町五一一 二六一三七二七	時計・宝石・メガネ (株) 秋元時計店 遠藤一男(商一期卒) 富士宮市大宮町一〇一 二六一二四三三	タイヤ・オイル専門店 (株) フジミヤゴム 望月和男(工四期卒) 富士宮市西町一一二 二七一四四七七	自動車整備・販売(民間車検) 峰自動車工業株式会社 木ノ内正則(工六期卒) 富士宮市源道寺町二六六 二六一八一八
--	---	--	--	--	---	---

# 部活リポート

## 柔道部

四月二十六日(富士高)  
 県柔道部予選  
 団体 二位  
 個人 渡辺清人 二位  
 五月十日(伊豆中央高)  
 I・H体重別  
 重量級 植松憲雄二位  
 中量級 清一弘三位  
 五月十七日(草薙体育館)  
 県柔道祭  
 団体 三位  
 個人 渡辺清人 三位  
 五月三十一日(静岡高)  
 I・H団体別大会  
 重量級 植松憲雄四位  
 中量級 清一弘四位  
 六月七日(草薙体育館)  
 I・H団体戦大会  
 ベストエイト  
 七月 (富士宮北高)  
 団体東部予選  
 二部(一年生)

二位  
 十一月十五日(浜松武道館)  
 第三回静岡県スポーツ祭  
 少年Aの部  
 優勝  
 (リポーター内藤修次)



## 陸上部

ここ数年部員数が五十名以上であり、特に今年には六十八名という大増員であり、選手としての女子部員はまだないがマネージャーとして四名おり、タイムの測定や、記録の集計などにあたり練習に協力している。北高の陸上部の看板はなんといっても駅伝である。特にここ数年は全国駅伝大会に連続して出場しています。今年も史上初の五連覇し十二月二十日京都で行われる全国大会に県代表として出場が決定しています。近い将来は全国制覇をねらうチームにすべく努力を続けています。毎年夏に霧ヶ峰で合宿をやっているが、O・Bも多数出席し選手と共に生活をして技術的精神的にアドバンスを与えたりまたO・Bと選手のコミュニケーションもはかっています。

## 市役所OB照会

### 地域社会と北高

佐野卓司 (第一回卒)

私立星陵高校、及び県立富士宮西高校が新設される時、市の職員として用地取得の他のことでお手伝いさせていただいたことがあり、地主の皆さんを前にしていろいろお願いをするわけであるが、冒頭、創立期の富士宮北高のことをとりあげ、学校と地域のかかわり、北高がいまや地域にとってかけがえのない存在であることなどを、自らの体験を交えながら話した。関係者のご協力で、両校とも立派に開校された。通勤などの道すがら、両校生徒の風貌のない元気な登下校の姿に行きあうたびに、かつて学んだ工業学校、商業学校の時代を思い出し、心ひそかに「頑張れよ」と声援を送り、また、両校が北高と同じように、これからの歴史のなかで一日も早くこの地域のゆるぎのない存在となることを期待している。

宮西高に対するこのような私の気持は、実は、私が創立期の北高で学んで身につけた「建学の精神」の投影にほかならないのである。創立期の北高を語るとき誰もが一様に引用するのが創立者である望月軍四郎先生が開校に当たって話された「私がこの学校を建てたのは、私の両親に対しての孝養、小にしては大宮町のため、大にしては国に對してご奉公を尽したい、云々」というくだりである。先生は私たちに、偉くなれ、とは一度も言われなかった。郷土のために働く人になれ、というのが先生の教えであり、建学の理念であった、と私は思っている。

私は、昭和十七年に工業学校を卒業後、二つ程職を変え、三つ目に市役所を選んで三十有余年、来年は定年を迎える。北高もその卒業生が、人生の一区切りをつけるようになったか、という思いを始め、いろいろ感慨があるが、市役所生活の支えとなったものは、創立期の北高で学び、身につけた「もの考え方」であった。考えてみると、望月先生の教えを最もよく生かした職場ではなかったか、と少し思われるのである。

編纂者の注文は、市役所における同窓生の活躍ぶりの紹介というものであったが、地域のために働いている人は他にも沢山おり、市役所にいる同窓生が特に目覚ましい活躍をしているわけでもない。現在、市職員として働いている同窓生は二百名前後であるが、これらの同窓生を代表して、いわゆる部長職にある人々の氏名だけの紹介にとどめさせていただくこととした。

(順序不同)

## 木材小売全国屈指

### 人物往来



代表取締役 深沢 一元 (県立第一回卒)

中支から陸軍中尉で復員の父が米屋から材木商に転じたのでそれを手助けしようと言った彼の心情からだと

富士宮市に米穀商「和泉屋」という旧家がある。その店主理男氏の四男二女の長男として昭和10年、一元氏は生まれた。終戦後、北高東附近にあった一町歩以上の畑地は農地開放の為手放された。今の評価では六、七億のものである。北高卒業時、学校から奨められた大学進学を辞めていち早く実業についたのも

28年北高卒業と同時に、沼津の鈴木製材で修業、33年独立、42年法人改組。42年といえは、ちょうどダイエーとか西友ストアのような大型スーパーが出る現して新しい商売のあり方を世に示した頃である。彼はいち早くこの時代の流れを察知して大量販売を目標として、「安く売る」のではなく「安く売れる組織」を追求し続けた。商品在庫管理と仕訳能率、膨大な

な伝票の正確迅速な処理等は彼が大学で管理学を学んだわけではない、汗と脂の血のにじむような苦勞の中で一ツツこれを解決して来たことだと思ふ。かくてマルダイは昨年度年商60億、申告所得一億六千万円、木材新建材の小売では全国屈指の会社に成長した。最近の建築需要の低下にもかかわらず売上は落込んでいないという。その秘密は一体何処にあるのだろうか、僅かな時間のインタービューではその核心は筆者には掴み切れないかも知れない。然し少くともその人柄にかかわるところが大きいと思う。

富士の店を訪れた時、半被姿であられた彼の姿は誰が社長かわからぬ様な謙虚さがある。彼が80人の従業員にとけ込んでいる姿をみる時にどんな事があっても会社についてゆくぞと従

生涯を半被で通す 松の芯 (いづみ)

丸山 久 工務課長  
 松浦 眞 学校教育課長

(有)ダイチ製作所  
 佐野幹雄 (工七期卒)  
 富士宮市宮原五二八 五八一二六七八

世界の銘酒と贈答品  
 ブンゴヤ  
 佐野守男 (県商二期卒)  
 富士宮市中央町一三 二六一三九八七

刃物と道具・製造卸小売  
 株式会社 鍛冶熊  
 春田秀雄 (県一期卒)  
 富士宮市大宮町一〇一七 二六一五二八二

総合ユニホームセンター  
 中川衣料株式会社  
 中川武三 (商四期卒)  
 富士宮市丹沢町八〇〇 二七一四一五七代

特選 呉服  
 望月昭男 (県商二期卒)  
 富士宮市宝町八一 二六一二二二四

和洋生菓子  
 まるじゅう  
 川口貞雄 (商四期卒)  
 富士宮市中央町一〇一 二六一二四二二

レディースショップ  
 まるいし  
 内藤昇次 (工二期卒)  
 富士宮市西町二五八 二六一四六一四

スポーツラザ十字屋  
 吉沢忠成 (商十六期卒)  
 富士宮市西町四一 三三一七七一七代

北高のあゆみ (第一回)

創立者を偲んで

元理事長 望月 玉三 (日本勸業角証券相相談役)

富士宮北校の創立者である私の父が教育に関心をもち、動機は色々あると思うが、一つには自分が尋常高等小学校しか卒業しなかつた為、人並以上の苦勞をしなければならなかつたことに加えて、大正十年単身渡米をした折に有色人種差別を体験して、將來同色同文の国中華民国と手を握って行かねばならぬと考へた処にあると思ふ。



本校創設前、通称曲り松附近から北高用地附近を望む (相葉夫人提供)

育英の為に學費を貸与した反面、詢に身を一つしんだ生活を平素心掛けて居たことは並々ならぬことで偉大であつたとつくづく思う今日この頃である。

富士宮に學校を建てるに就いては、「どうも静岡の連中は天与に恵まれて覇氣がない。立派な學校を作つて有能な人材を輩出するよりにしたい」と言う氣持があつたようだ。

なつかしの恩師

初代校長 相葉 繁

(昭13・1・10 ~ 17・4・25)



邪無思

十月十八日秋晴れの日曜日、相葉先生の遺族宅を訪れた。小田急の読売ランド下車、徒歩五分、多摩の西生田の閑静な住宅地である。品のよい夫人(72才)と体格の立派な長男の一博さん(51才)が心よく出迎へてくれた。

それは現代のソロバンでははじけない男意氣に殉ずる古武士的の人生の序曲でも、あつたわけだ。

昭和三十二年四月、先生が敬慕されて居た同僚校長が、事情あつて職を辞すと、先生も恩義に殉じて袂を共にしたと、奥さんは遠い過去を追憶されている。

昭和三十二年四月、先生が敬慕されて居た同僚校長が、事情あつて職を辞すと、先生も恩義に殉じて袂を共にしたと、奥さんは遠い過去を追憶されている。

昭和三十二年四月、先生が敬慕されて居た同僚校長が、事情あつて職を辞すと、先生も恩義に殉じて袂を共にしたと、奥さんは遠い過去を追憶されている。

昭和三十二年四月、先生が敬慕されて居た同僚校長が、事情あつて職を辞すと、先生も恩義に殉じて袂を共にしたと、奥さんは遠い過去を追憶されている。

昭和三十二年四月、先生が敬慕されて居た同僚校長が、事情あつて職を辞すと、先生も恩義に殉じて袂を共にしたと、奥さんは遠い過去を追憶されている。



野沢昭雄先生 (昭22・4・27・9)

先生は昭和二十二年四月から二十七年九月迄商工學校校長、業高専立高専と言ふ変遷時期に体育教師として奉職したのです。若く情熱家の先生は陸上競技部顧問として毎日の授業が終ると真先にグラウンドに出て一緒に練習する。当時の部員は一〇名たらずであり、伝大会の時他部の部から応援出場して貰つた。二年の県東部駅伝に第二位入賞、喜びました。又先生が育てた選手に石川行夫君がいます。

先生は今年三月に退職されました。田中先生を恩師と迎へ、卒業された先輩たちとは、多少異なるかも知れませんが、私にとつては先生は静かな印象の強い人でした。それは、先生が退職される前の病氣の状態が記憶にあるからだと思ひます。そして、そんな状態の中で、先生の素晴らしい点を見たように思ひます。それは、あれだけの病氣を、そのための精神的にも肉体的にもかわらなかつた、御自分の職務を最後までやり遂げたということだと思います。これはどんな事より素晴らしいことだと思ひます。

先生は、本校の第一期の卒業生であり、昭和四十三年以来十三年の間、後輩でもある生徒の私たちを御指導くださったのです。私たちは、先生のご指導に感謝するとともに、今後のご健康を祈つてやみません。

北嶺文芸

浅羽 緑子(元職員) 緊がれて魚舟ゆれをり敗戦日 今朝あきの黒富士ひとと大鳥居 空深し己とあそぶ我亦紅 秋山たけし(3回卒) 秋風や三界の身のおきどころ 鷲頭や亡父の齡をすでにすく 井出 元一(一回卒) こし方や滝一条の薄紅葉 悔恨に胸塞がりて秋去りぬ



今年から二年二回発行となつたので、北高のあゆみを連載することとした。第一回は第三代理事長望月玉三先生に杉沢氏を通じて御願いたしましたところ、貴重な御投稿を戴いた、厚く御礼申し上げます。

第二回以降、順次先生方や卒業生の皆さんにも書いて戴きたいと思ひますので折にふれて資料の掘起し等今から御用意いたします。

編集部が若かりました総会報告にもある通り新進の五氏の活躍が期待されています。

特に今回の広告については地元富士宮市内の卒業生の御協力を得ました。特に募集にあるかた内藤修次、大石清一両氏と共に御礼申し上げます(井出)